

# 福岡県・大分県等の大雨に関する関係閣僚会議

平成29年7月6日9時00分  
於 官邸四階大会議室

## 議 事 次 第

1. 開 会 内閣官房長官
2. 副総理冒頭発言 副総理
3. 被害状況、政府の対応状況 内閣危機管理監
4. 各省庁の対応  
国家公安委員会委員長・防災担当大臣  
総務大臣  
厚生労働大臣  
経済産業大臣  
国土交通大臣  
防衛大臣
5. 閉 会 内閣官房長官

【これは速報であり、数値等は今後も変わることがある】

## 福岡県・大分県等の大雨に関する関係閣僚会議

平成29年7月6日（08：00）現在

### 1. 気象の概況

（気象庁：7月6日07:00現在）

#### （1）気象の概況

- 5日17時51分、福岡県に大雨特別警報を発表（福岡地方、京築、筑豊地方、筑後北部、筑後南部）。6日07:00現在で20市町村に発表中。
- 5日19時55分、大分県に大雨特別警報を発表（中部、北部、日田玖珠、竹田市、佐伯市、豊後大野市）。6日07:00現在で12市町に発表中。
- 梅雨前線は西日本に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込んでいる九州地方を中心に、活動が活発となっている。
- 6日06：00までの24時間雨量は、福岡県朝倉市で536.0ミリ、大分県日田で359.5ミリとなるなど、九州地方では350ミリを超える記録的な大雨となっているところがある。

#### （2）大雨の状況と今後の見通し等

- 福岡県及び大分県では、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に最大級の警戒。九州地方のその他の地域においても、これまでの大雨で地盤の緩んでいるところがあり、土砂災害に厳重に警戒。
- 活発な梅雨前線が7日にかけて引き続き西日本に停滞するため、局地的に非常に激しい雨が降り、大雨となるところがある見込み。特に九州北部地方では、6日朝にかけて、雷を伴った1時間に80ミリ以上の猛烈な雨が続く見込み。
- 7日06:00までの24時間に予想される雨量（いずれも多いところ）は次のとおり。

九州北部地方	250ミリ
九州南部・奄美地方	150ミリ

### 2. 政府の主な対応

7月3日 12:30 関係省庁災害警戒会議  
16:46 情報連絡室設置

7月5日 11:30 関係省庁災害対策会議  
18:46 官邸連絡室へ改組  
18:56 総理指示

1. 早急に被害状況を把握すること
2. 地方自治体とも緊密に連携し、人命を第一に、政府一体となって、被災者の救命・救助等の災害応急対策に全力で取り組むとともに、住民の避難支援等の被害の拡大防止の措置を徹底すること
3. 国民に対し、避難や大雨・河川・浸水の状況等に関する情報提供を適時的確に行うこと

- 19:15 関係省庁局長級会議開始
- 19:41 官邸対策室改組
- 20:08 緊急参集チーム協議開始
- 20:30 官房長官会見
- 7月6日 06:25 内閣府情報先遣チーム出発（派遣先：福岡県庁、大分県庁）
- 06:42 官房長官会見
- 07:30 関係省庁災害対策会議
- 09:00 福岡県・大分県等の大雨に関する関係閣僚会議（予定）

### 3. 被害状況（未確認情報を含む）

(1) 人的被害（警察庁：7月6日05:30現在）

- 福岡県 軽傷2名

(2) 住家被害（消防庁7月6日07:40現在）

都道府県	住家被害（棟）					非住家被害	
	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
福岡県	3	3	2	7	8		
熊本県			7				
合計	3	3	9	7	8		

(3) 避難状況（消防庁7月6日07:40現在）

都道府県	避難指示（緊急）		避難勧告	
	対象世帯数	対象人数	対象世帯数	対象人数
福岡県	169,459	399,880	16,974	46,130
熊本県	315	754	確認中	確認中
大分県	12,651	40,033	5,605	12,368
合計	182,425	440,667	22,579	58,498

(4) 原発関係（原子力規制庁：7月6日05:00現在）

- 九州電力玄海原発・川内原発、四国電力伊方原発において、施設等の異常なし

(5) ライフライン等の状況

- 電力関係（経済産業省：7月6日07:40現在）

- ・停電 約5,800戸

福岡県約4,800戸（朝倉市及び東峰村）、熊本県約400戸、大分県約600戸（日田市、豊後大野市）

●水道関係（厚生労働省：7月6日07:40現在）

- ・断水 15戸（大分県玖珠町）

●ガス関係（経済産業省：7月6日07:40現在）

- ・被害情報なし

●通信関係（総務省：7月6日07:30現在）

【固定電話】

- ・NTT西日本：福岡県で約1,220回線が使用不可（福岡県朝倉市、東峰村の一部）  
（電話790回線、フレッツ400回線、専用線30回線）  
大分県で約245回線が使用不可（大分県日田市の一部）  
（電話240回線、専用線3回線）

【携帯電話】

- ・NTTドコモ：28局が停波（福岡県朝倉市及び東峰村の一部16局、大分県12局）
- ・KDDI：11局が停波（福岡県朝倉市及び東峰村の一部8局、大分県杵築市及び豊後大野市の一部3局）
- ・ソフトバンク：50局が停波（福岡県朝倉市及び東峰村の一部25局、佐賀県3局、長崎県6局、熊本県3局、大分県13局）

(6) 交通関係

●鉄道関係（国土交通省：7月6日07:30現在）

- ・JR九州久大本線 光岡駅～日田駅間で橋梁流出

●道路関係（国土交通省：7月6日07:30現在）

- ・高速道路 大分道甘木IC～玖珠ICで雨量規制等による通行止
- ・直轄国道 通行止めなし
- ・補助国道 12区間で被災による通行止
- ・都道府県・政令市道 44区間で被災による通行止

(7) 河川関係（国土交通省：7月6日07:30現在）

[直轄河川]

●溢水

- ・山国川 大分県中津市、調査中（右岸18.8km）
- ・山国川 大分県中津市、調査中（右岸27.0km）
- ・小石原川 福岡県大刀洗町、調査中（左岸0.2km）
- ・花月川 大分県日田市、調査中（左岸1.8km）
- ・花月川 大分県日田市、調査中（右岸7.6km）
- ・彦山川 福岡県田川郡添田町、調査中（左岸23.9km）
- ・彦山川 福岡県田川郡添田町、調査中（左岸24.6km）
- ・彦山川 福岡県田川郡添田町、調査中（左岸30.0km）

●氾濫危険水位超過が想定される河川

- ・筑後川（特定区間：荒瀬） 特定区間外の無堤部が先に溢水する可能性有り
- ・筑後川（特定区間：片の瀬） 特定区間外の無堤部が先に溢水する可能性有り

●避難判断水位を超えている河川

- ・筑後川

[県管理河川]

●溢水

- ・大肥川（大分県日田市） 調査中
- ・有田川（大分県日田市） 調査中

●浸水情報

- ・大刀洗川（福岡県大刀洗町） 調査中
- ・陣屋川（福岡県大刀洗町） 調査中
- ・荷原川（福岡県朝倉市） 調査中
- ・赤谷川（福岡県朝倉市） 調査中
- ・黒川（福岡県朝倉市） 調査中
- ・乙石川（福岡県朝倉市） 調査中
- ・桂川（福岡県朝倉市） 調査中
- ・妙見川（福岡県朝倉市） 調査中

(8) ダム関係（国土交通省：7月6日07:40現在）

●夜明ダム

- ・ゲート開放に移行

(9) 土砂災害（国土交通省：7月6日07:30現在）

●土石流等

- ・3件（福岡県東峰村2件、大分県中津市1件）

#### 4. 救助活動等の状況

●警察庁（7月6日07:40現在）

<7月5日22:00時点での活動予定>

6日朝、約4,100人活動予定

（福岡県警：約2,500人、大分県警：約1,500人、広域緊急援助隊：約100人）

広域緊急援助隊待機状況 約680人

広域警察航空隊（ヘリ）12機（待機中）

<7月6日7:40時点での活動状況>

大分県警ヘリ1機が6日07:03にフライト開始

福岡県：現場活動部隊計351名を予定

- ・朝倉市杷木、福光、宮野地区に機動隊投入、捜索・救出救助活動実施
- ・朝倉市全域に警察署員、自動車警ら隊、第1機動隊を投入、捜索・救出救助実施
- ・東峰村に機動隊投入、捜索・救出救助実施
- ・県警管区機動隊104名は、朝倉市杷木で捜索等実施

大分県：現場活動部隊計355名を予定

- ・日田市大肥地区に機動隊、管区機動隊、交通部隊、機動通信隊、本部支援隊、日田署員、熊本県・宮崎県広域緊急援助隊警備部隊を投入、情報収集・捜索・救出救助実施
- ・日田市小野地区に佐賀県広域緊急援助隊 15 名、長崎広域緊急援助隊 26 名を投入、被害状況等確認

●消防庁（7月6日 07:40 現在）

<7月5日 22:00 時点での活動予定>

- ・6日朝、約 2,000 人活動予定（地元消防本部、県内応援、緊援隊の合計）
- ・航空機（ヘリ）12 機（待機中）

<7月6日 05:30 時点での活動状況>

- ・05:00 現在、緊援隊の佐賀県大隊は、被災地付近まで進出、まもなく救助活動等を開始予定。その他の県大隊は、進出拠点向け移動中。

●防衛省（災害派遣）（7月6日 07:30 現在）

<7月6日 07:30 時点での活動状況>

- ・約 1,610 名態勢で活動（最大約 5,000 名）
- ・航空機、天候不良のため離陸待機中（活動予定 12 機）

<各地における活動状況>

- ・福岡県朝倉市・東峰村における人命救助：人員約 490 名
- 福岡県筑紫野市等における人命救助：人員約 110 名
- 福岡県みやこ町等における人命救助：人員約 100 名
- 福岡県嘉麻市等における人命救助：人員約 100 名
- 福岡県久留米市等における人命救助：人員約 100 名
- ・大分県日田市における人命救助・道路啓開：人員約 200 名
- ・大分県別府市・佐伯市における人命救助：人員約 290 名
- ・福岡・大分県内の被害状況把握・情報収集等：人員約 920 名

●海上保安庁（巡視船及び航空機等）（7月6日 08:00 現在）

- ・福岡航空基地にて固定翼航空機 1 機、回転翼航空機 1 機及び機動救難士 2 名待機
- ・広島航空基地にて回転翼航空機 2 機待機
- ・鹿児島航空基地にて回転翼航空機 1 機及び機動救難士 2 名待機
- ・美保航空基地にて固定翼航空機 1 機及び回転翼航空機 1 機待機
- ・ヘリコプター搭載型巡視船 1 隻（回転翼航空機 2 機）、大分県沖に待機
- ・巡視艇 5 隻、沿岸部調査中（大分、津久見、佐伯、博多湾、有明海）

## 5. 各省庁等の対応

● 気象庁（7月5日 21:00 現在）

7月5日 17:51 福岡県大雨特別警報発表  
19:00 記者会見

19:55 大分県大雨特別警報発表

21:00 気象庁記者会見

● 警察庁（7月5日 21:00 現在）

7月5日 17:35 近畿、中国、四国及び九州各管区局内の広域緊急援助隊に待機指示

18:46 警備課長を長とする災害警備連絡室に改組

19:41 警備局長を長とする災害警備本部に改組

● 消防庁（7月5日 20:50 現在）

7月5日 17:51 消防庁災害対策本部設置

19:55 福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県に対し、緊急消防援助隊の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼

20:00 愛知県に対し、緊急消防援助隊（全地形対応車を含む部隊）の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼

20:45 現地活動支援のため、消防庁職員を福岡県へ4名、大分県へ4名の派遣を決定

7月6日 05:25 現地活動支援及び現地広報のため、消防庁職員を福岡県へ6名、大分県へ6名派遣

08:00 消防庁長官を長とする災害対策本部に改組

● 防衛省（7月5日 23:00 現在）

7月5日 18:46 防衛省災害対策連絡室設置

19:00 福岡県知事から陸自第4師団長（福岡）に対し、災害派遣要請

19:30 大分県知事から第4戦車大隊長に対し、災害派遣要請

19:41 防衛省災害対策室へ改組

● 海上保安庁（7月6日 05:00 現在）

7月5日 17:55 福岡県ヘリエゾン2名派遣

19:41 海上保安庁対策室を設置

海上保安庁対策本部へ改組

19:45 大分県ヘリエゾン2名派遣

20:55 福岡航空機基地にて回転翼航空機待機済み

23:55 海の安全情報発出

7月6日 07:00 福岡県ヘリエゾン2名派遣

● 国土交通省（7月6日 07:40 現在）

・リエゾン派遣：福岡県、添田町、うきは市、朝倉市、日田市、東峰市、中津市

※東峰村へは、福岡、北九州、大分の3方向から向かっているが、道路が寸断されており、未だ到着してない。

● 厚生労働省（7月6日 07:40 現在）

・DMATへの待機要請なし